

事業計画名 昇華転写システムの導入で「新たな染色システムの構築」と「新たな取引先獲得」を

イベント設営企業として施工技術力を発揮するために、ポリエステル生地用のプリンター等を導入し、素材提案能力が向上

計画の概要

テント生地への印刷は当社所有の「大型プリンター」で加工可能であるが、ニーズが高まっている「薄いポリエステル生地」への印刷が可能となる「昇華転写システム」の導入。また、付加価値を高めるために、加工途中の破損や生産効率の向上によるQCD改善を目的とした「ハイブリッド高周波ウェルダージ」を導入するものである。

有限会社 寿テント

■事業者名	有限会社寿テント
■代表者名	代表取締役 岸田 博己
■設立年	1984年(昭和59年)
■所在地	本社/〒689-2102 鳥取県東伯郡北栄町国坂104-2 Tel.0858-36-2811 Fax.0858-36-2863
■資本金	5,000千円
■従業員数	17人(平成29年8月末時点)
■業務内容	(繊維製品製造業)



代表取締役社長 岸田 博己

事業の取組内容

- ①中国地区初の色彩・生地の多様化等に対応するための印刷機器「昇華転写システム」導入結果
- グラデーションの高発色プリントが可能となった。
 - 屋外の場合でも鮮明な色もちが1年以上継続した。
 - 製版が不要で感光乳剤などの薬品を不使用となった。
 - 印刷工程内製化により作業の効率化が向上した。
 - ポリエステル生地、グラスファイバー生地を使った幕天井・壁幕等の製造が可能となった。
- ②焼きつきトラブル減少のため「ハイブリッド高周波ウェルダージ」の導入
- デジタル電流調整が可能となり、焼きつきの原因のスパークを極限まで減少し、コスト削減が実現した。
 - ハイブリッド高周波ウェルダージによる生産性が向上した。



天井吊式ハイブリッド高周波ウェルダージの導入により焼きつきが飛躍的に改善された。

事業化の可能性と展望

●事業化への目標

- 昇華転写システム導入によるポリエステル生地、グラスファイバー生地等の印刷部門の売上が拡大している。
- 昇華熱転写システムプリンター等の導入により、各種イベント設備の施工能力拡大を受注増に繋げていくよう展開している。
- 専門分野に突出した技術力、製品企画力を発揮し、大手イベント会社との強い信頼も高まり、国内のイベントの受注が増加している。
- テント関連製品の独自製造技術も保有していることから、県外の業者等より安定したテント製品等の受注が続いている。
- 東京オリンピックに向けて本格的に受注体制強化を図っている。



需要が高まっている次世代テントのVITABRI V3



事業のポイント

鳥取県の国体を契機として事業を創業・拡大し、大手イベント会社の受注企業として全国で活躍する企業である。全国イベント実施大手企業の下請企業として徹底した技術・施工技術、設営施工、運営能力を発揮している。また、イベントにおける設営、素材提案能力も高く、同業関係企業からの製造受注も増加の一途を辿っている。今回の設備導入は多様化する帆布製品のニーズに対応したもので、全国のイベント事業へ対応能力の強化、東京オリンピック等への参入等に大きく一歩を踏み出すきっかけとなっている。

企業概要

当社は、昭和59年の創業以来、テント製造、テント類のレンタル事業を展開している。

設立当初は、テント製作のみの取引だったが、現在では「イベント会場まるごと請負」という形態が増えている。また、当社の受け持つ業務エリアについても「北海道から沖縄までの広範囲」となっており、まさに「全国展開事業所」として認められつつある。



本社全景

事業の計画概要

●設備導入のきっかけ

(現状)

- イベント会場に大型のグラフィックスサインを設置する場合、「軽くて」「発色の良い」「安価」なポリエステル生地の要望が急増している。

(課題)

- ①現行の大型プリンターではポリエステル生地への印刷は対応することができない。
- ②海外メーカーが製作したテントへの印刷が困難であり、受注機会の損失が発生。
- ③ユーザーがシートへの配色・色調、ロゴや写真等の立体感のある照射物にチェックが厳しくなり、クレーム・手直しの対象となっている。

(課題解決策)

- ①印刷と加工を内製化のために設備の導入が必要
- ②ポリエステル生地の印刷に対応できる設備の導入。
- ③品質・納期・価格面において同業他社に対抗できる製品の加工精度を向上。

(事業実施期間)

開始：平成28年7月～完了：平成28年10月

機械装置名	利用方法
昇華熱転写システムプリンター	ポリエステル生地への印刷が可能となるシステム
天井吊式ハイブリッド高周波ウェルダージ	印刷後の加工工程内でのスパーク(火花)、破損を減少させると同時に立体的な加工を実現できる



中国地区で初導入となった昇華熱転写システムプリンター



転写機